

■履修モデル 中学社会・高校公民

区分	必要 単位数	種 別	1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次		
			春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	
教育の基礎的理解に関する科目	10	必修	特別支援教育	* 教職入門 * 教育心理学	* 教育原理 * 教育行政						
		選択									
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	中学:10 高校:8	必修				総合的な探求の時間の指導法					
						特別活動指導法					
		中学:必修			* 生徒指導論 * 進路指導論	教育課程の編成とICT活用を含む教育の方法	教育相談の理論と方法				
教育実践に関する科目	中学:7 高校:5	必修							教育実習Ⅰ・Ⅱ 実習指導 教職実践演習		
教科及び教科の指導法に関する科目	中学:28 高校:24	中学:必修			* 社会科・地歴科指導法Ⅰ	* 社会科・地歴科指導法Ⅱ					
		必修			* 社会科・公民科指導法Ⅰ	* 社会科・公民科指導法Ⅱ					
		必修			地理学						
			民法Ⅰ 国際法 日本地誌 世界地誌								
		選択	経済学 政治学 社会学 心理学 【 哲学 倫理学 (いずれか1科目必修) 】								
			日本史a 日本史b 西洋史a								
			山形地域論a 山形地域論b 西洋史b 文化人類学 英国庭園文化論 法学 環境社会学 ジェンダー論 自然地理学a 自然地理学b								
			ミクロ経済学 マクロ経済学 人文地理学a 人文地理学b								
			経済史 会計学 金融論 産業組織論 企業法務 企業組織の心理学								
			行政学 地方自治論 行政法 統治機構論 政策入門 社会保障論a 社会保障論b 国際海洋法 公的年金論 民法Ⅱ 地方財政論 国際関係の法と経済 日本政治論Ⅰ 日本政治論Ⅱ 公共経営論								
公的扶助論 社会政策a 社会政策b											
世界経済事情 サブカルチャー論 a サブカルチャー論 b											
国際関係論 アジア経済論 アメリカ事情 International Economics											
観光政策論a 観光政策論b 地域・観光資源論 国際観光論a 国際観光論b 余暇と観光の社会学 民俗学と観光Ⅰ 民俗学と観光Ⅱ 自然環境の保全と共生											
地理学フィールドワーク											
大学が独自に設定する科目	中学:4 高校:12	選択	生涯学習論		地域福祉と包括的支援体制Ⅰ 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ マルチメディア論 職場のメンタルヘルス						
				教育学	障害者福祉論 児童・家庭福祉論 介護等体験(※中学社会免許必修)						
教育職員免許法施行規則第66条の6に規定する科目(基礎的な科目)	8	必修	外国語(別掲1) 情報リテラシー		憲法						
					体育と健康a	体育と健康b					
		選択	AⅠと社会	データサイエンス入門a	データサイエンス入門b						

注) 1. 中学免許を取得する場合は、「介護等体験」が必修となっている。体験を実施する前年度までに「特別支援教育」を受講しておくこと。

- ・特別支援学校 2日間(連続して) ・社会福祉施設等 5日間(連続して)
- 2. 表中に網掛けしている科目は、卒業単位に含まれる。
- 3. 1年秋学期に『教育学』と『心理学』を受講しておくことが望ましい。
- 4. 1年春学期から教科に関する科目をなるべく積極的に受講しておくことが望ましい。
- 5. *印は、教育実習を行う前に履修しなければならない科目。
- 6. 語学・情報科目と教職必修科目が重なった場合、クラス変更が可能な場合があるので、教職担当教員に相談すること。

外国語(別掲1)	科目名	
	英語Ⅰ(基礎英語)・EAPⅠ(Basic English)	英語Ⅱ(リスニング)・EAPⅡ(Listening/Speaking)
	中国語Ⅰ	中国語Ⅱ

※ 2言語から1言語選択必修